



～ともにつくる 持続可能な未来～



4月

- 「ユニセフ・ウクライナ緊急募金」取り組み開始
- 宅配の仕組みを使ったフードドライブ(4月4週)
- 日本生協連「ピースアクションinオキナワ on-line」学習講演会
- くらしのセンター営業時間の変更



宅配の仕組みを使ったフードドライブ(4月4週)に取り組み、寄贈された商品は各地域理事会で相談し、地域の社会福祉協議会などへ贈呈しました。5月30日、天童生協で天童市社会福祉協議会に贈呈。

7月

- 第1回「班長・組合員のつどい(おうちでつどい STAY HOME)」
- 第1回産直交流会：銀山アスパラ&まるひろ園芸出荷組合
- 新・精肉加工・日配センター地鎮祭



老朽化した精肉・日配センターの新築・移設に向けて、7月18日に地鎮祭を行いました。

5月

- 各地域 組合員集会&共立社通常総代会議案説明会
- 山形生協「米つくり隊」・鶴岡生協「米づくり体験交流会」田植え
- 「ALPS処理水海洋放出反対署名」取り組み



5月28日、山形生協「米つくり隊」では村木沢あじさい営農組合さんの田んぼをお借りして、田植えを行いました。

8月

- 各地域の平和のつどい&原爆展
- 8月4～5日/7～8日：日本生協連「ピースアクションin ヒロシマ・ナガサキon-line」
- 大谷果樹組合目ざろえ会
- 「2022年8月大雨災害支援募金」への取り組み



今年度もヒロシマ平和行動への派遣は見送られましたが、各地域で「平和のつどい」や「原爆展」などが開催されました。8月4日鶴岡生協では、鶴岡市在住の広島県被爆者三浦さんの被爆体験お聞きしました。

6月

- 第43回共立社通常総代会



「第43回共立社通常総代会」も必要最小限の人数で、6月16日、やまぎん県民ホールを会場に開催しました。今回は理事・監事の改選が行われました。

9月

- 各種分野別委員会開催
- 「おうちでコープ・秋」
- 「ユニセフ・東ティモール指定募金」取り組み開始



9月22日、大谷果樹組合の援農交流会「葉摘み」作業が行われ、組合員・職員あわせて18名が参加しました。



より多くの組合員が参加し、 生協の輪が広がる活動

こゝぶ委員会活動

●新型コロナウイルス
感染対策と活動の
両立を目指し、活動内
容の制限はありましたが、全地域で中止する
ことなく活動しました。

●西置賜地域「ひなた
こゝぶ委員会」(4月・
酒田地域「たんぽぽこ
ゝぶ委員会」(7月)・
寒河江地域「たかまつ
こゝぶ委員会」(7月)
の3つのこゝぶ委員会
が新たに立ち上がり、
活動を開始しました。

「班長 組合員6人 こゝぶ委員会」

●第1回「班長・組合
員のつどい」(7/1
8/12)に取り組み、
個人参加の「おうちで
つどい」は421件・
こゝぶ委員会や地域理
事会主催の会場開催は
87か所622件 合計
1,043件の参加実
績となりました。

●統一資料では、ロシ
アによるウクライナ侵
攻がおこなわれる中、
各界からのインタビュ
ーを掲載し、土田文子
弁護士憲法九条のテ
ーマに多くの反響があ
りました。

《下期の課題》

●試供品は、子育て世
代の関心を高めるため、
離乳食や乳児食の「コ
ープきらきらステップ
&キッズ」の商品を紹
介しました。



▲酒田地域に新たに立ち上がった「たんぽぽこゝぶ委員会」

食の安全・安心と豊かな食生活を実現

食の安全学習会

●「食品の安全パンフ
レット」学習会が5か
所・「ゲノム編集食品」
学習会が2か所のこゝ
ぶ委員会で行われまし
た。

商品活動

●日本生協連主催「ラ
ブコープオンライン工
場見学」が行われ(キ
ンレイ株)5/19・ナ
リス化粧品(株)8/
4・(株)マルサンアイ
9/14、各地域で視
聴学習しました。

●各地域のこゝぶ委員
会、商品委員会、共同
購入(宅配)委員会
は、オンラインも活用
し、商品や生協事業に
関する学習が多く取り
組まれました。

●よねざわ地域では、
新たに商品活動委員会



▲南陽地域の商品活動委員会では、「家庭の便利グッズ」を利用してました

を立ち上げました。

●第1回商品活動委員
会をオンライン開催し
(8/31)、委員・理事
19名が参加しました。
交流の他、大塚製薬の
「栄養・免疫について」
学習会を行いました。

産直活動

●第1回産直交流会
(虹の農場銀山アスパ
ラ・まるひろ園芸出荷
組合)には、組合員・
職員28名が参加しまし
た(7/20)。

●第2回産直交流会

(松浦園芸)には、組
合員・職員19名が参加
しました(8/10)。

●第3回産直交流会
(大谷果樹組合)には、
組合員・職員27名が参
加し、併せて行われた
目ざろえ会では今年の
出荷基準を確認しまし
た(8/23)。大谷果
樹組合への援農交流会
は、摘果作業22名(6
/9)、葉摘み作業18
名(9/22)が参加し
ました。

●第4回産直交流会
(泉栄(株))には、組合
員・職員13名が参加し
ました(9/7)。

子育て・食育活動

●鶴岡・酒田地域の
「第34回米作り体験交
流会」は、「田植え」
に11家族23名(5/
14)、「生き物観察・除
草」に5家族12名(6



▲まるひろ園芸出荷組合との産直交流会

地域の支え合いで、くらしを守る運動

フードバンク・ フードドライブ

●宅配の仕組みを使っ
たフードドライブを4
月4週に実施し、全体
で640名/1、
718個のご協力が寄
せられました。ご協力
いただいた商品は、地
域の社会福祉協議会
(11)、地域食堂(1)、
大学(2)に贈呈しま
した。

●山形地域では3セン
ターでフードドライブ
に取り組み(4月)、
481個の協力があり
ました。また、山形大
学小白川キャンパスで
「山大生応援 パスで
100倍!応援パント
リ」を開催し(7/
28、322名の学生
に商品をお渡しするこ
とが出来ました。

●酒田地域では、こび
あこブ酒田でのフー
ドドライブ(9/3)
に取り組み、145個
の商品の寄付があり、
当日、酒田市社会福祉
協議会へ寄贈しました。

●こブフードバンク
個人サポーターは、



▲酒田地域ではフードドライブ商品を酒田市社協へ贈呈

居場所づくり

●感染拡大防止により
休止していましたが、
5月以降再開する地域
が増えました。

●西置賜地域では、新
たな居場所として「百
歳体操」をスタートし
ました。

●山形地域では、「み

平和を守る運動

平和活動

●ロシアのウクライナ
侵攻を受け、上期の平
和募金に替えて「ユニ
セフ ウクライナ緊急
募金」に取り組みまし
た(9/20現在宅配
OCR募金:622万
6,000円)。2月度
まで延長します。

●「憲法改悪を許さな
い全国署名」に取り組
み(3月/5月末)、
2,720筆(目標5、
000筆・達成率54
%)の実績となり、
「9条改憲NO!全国
市民アクション」に送
りました。

●「ピースアクション
inオキナワ 第39回沖
縄戦跡・基地めぐり」
(3/25)がオンライン
で開催され、県内10地
域で組合員・職員併せ

て34名が参加しまし
た。北村山地域では、土田
文子弁護士を講師に
「北村山平和のつどい」
を開催し(4/30)、
57名が参加しました。
●「2022ピースア
クションinヒロシマ・
ナガサキ」がオンライン
で開催され(8/4・
5、8/7・8、延
べ100名が視聴しまし
た。「オンライン子
ども平和会議」には、
南陽生協の色摩樹史さ
ん(小6)が参加しま
した。

●各地域で夏の平和展
や原爆展を開催し、多
彩な平和企画を取り組
まれました。

《下期の課題》
◇「ユニセフ 東ティ
モール指定募金」に取
り組みます。

地域の期待に応える事業活動

センター事業

●毎月第4日曜日に全
センターで「山形フェ
ア」を実施しています。
●情勢の変化への対応、
労働環境の改善を目的
に、営業時間の変更を
実施しました。

●老朽化した精肉加
工・日配センターの新
築・移設に向けて地鎮
祭を行い(7/18)工
事が開始されました。

●下期より、毎月第4
日曜日のコープペイデ
ィの実施、1日・15日
のTVCMを開始して
います。

●宅配事業をお知
らせるPR動画(You Tube)を

宅配事業



▲宅配PR動画

共済事業

●非対面・非接触・時
間にとわれない加入
手続きの要望に応える
ため、インターネット
で共済加入できる仕組
みを導入しました。

●2021年度上期は、
3,624件/1億9、
141万円の共済金が
お支払いされました。

コールセンター

●上期のコールセンタ
ーへの入電総数は5万
3,389件、応答数
4万8,681件で応
答率は91.2%でした。
●「組合員の声改善委
員会」を上期で6回開
催し、各事業所から78
件の改善事例の報告、6
件の提案がありました。

葬祭事業

●庄内地域では、複数
のこゝぶ委員会等で学
習会を行いました。

介護福祉事業

●内陸での認知度を向

組合員へのお役立ちをすすめました



▲山形地域の「みんなの食堂」テイクアウト

上させるための周知に
取り組みました。

●福祉用具販売では、
特定8件、一般22件の
供給。一般レンタルは
61件、住宅改修は2件
の対応でした。

●医療生協やまがたの

通所リハビリや入居施
設等関連事業所へ、中
古の手すりや車椅子、
ベッド用テーブルの販
売をして喜ばれていま
す。





2022年度 上期：組織到達と事業状況の報告

2022年度上期は 組合員が1,367人増加し、16万3,429人になりました。年間目標の235.7%です。

		共立社合計	鶴岡生協	新庄生協	北村山生協	山形生協	天童生協	酒田生協	南陽生協	寒河江生協	西置賜生協	コープよねざわ	本部、その他
組合員数	純増年間計画(人)	580	50	20	50	150	50	100	50	40	50	20	—
	到達(人)	1,367	241	99	112	430	90	228	56	75	31	70	△65
	到達率	235.7%	482.0%	495.0%	224.0%	286.7%	180.0%	228.0%	112.0%	187.5%	62.0%	350.0%	—
	到達組合員数(人)	163,429	39,451	8,344	7,360	48,567	5,081	24,649	6,041	4,851	5,679	4,485	8,921
	世帯数	401,544	55,001	24,676	31,219	122,566	22,929	44,161	22,779	26,150	18,603	33,460	—
	組織率	40.7%	71.7%	33.8%	23.6%	39.6%	22.2%	55.8%	26.5%	18.6%	30.5%	13.4%	—
出資金	純増年間計画(円)	1億4,800万	3,000万	500万	600万	5,000万	1,500万	2,000万	500万	500万	800万	400万	—
	到達(円)	1億7,487万	3,759万	956万	1,223万	4,480万	1,160万	2,416万	951万	776万	575万	495万	696万
	到達率	118.2%	125.3%	191.3%	203.9%	89.6%	77.4%	120.8%	190.2%	155.1%	71.9%	123.7%	—
	到達出資金(円)	42億5,048万	11億0,620万	3億1,975万	3億3,600万	10億2,254万	2億8,273万	5億4,476万	2億2,516万	1億8,189万	1億4,536万	7,364万	1,246万
	平均出資金(円)	26,008	28,040	38,320	45,653	21,054	55,644	22,101	37,271	37,495	25,596	16,418	1,396
積立増資者	参加者(純増)目標(人)	730	70	30	60	350	30	50	40	50	20	30	—
	到達(人)	909	80	25	76	254	61	85	109	92	50	78	△1
	年間計画差	179	10	△5	16	△96	31	35	69	42	30	48	—

(注1) 本部組合員数については、住所不明組合員などです。
(注2) 世帯数は、山形県「山形県の人口と世帯数(推計)」の「市町村別人口と世帯数(2022年3月1日)」によります。
(注3) 出資金については、各金額について万円未満を切り捨てて表示しています。よって各生協の合計額と共立社合計欄の金額は一致しません。

組織の到達点

- (1) 上期は1,367人の新しい組合員を迎えることが出来ました。加入された組合員から『重くてかさばるペットボトルなどの配達、本当に助かります。』、『車の運転が出来ないので、アイスクリーム類が冷たいままでおいしく食べられるのは嬉しいです。宅配に助けられています。』との嬉しいお声を頂いています。
- (2) 出資金は1億7,487万円の増加となりました。また、今年度も出資金の大切さを伝え、『誰もがめざす出資金5万円』を目標に、「積立増資」の取り組みに力を入れ、新たに909人の組合員と積立増資額の増額への協力に1,342人の組合員が積立増資に参加いただきました。引き続き、より多くの組合員からの出資金の増資活動にご協力をお願いいたします。



増資へのご協力をおねがいします！

生協はより良い暮らしを実現するため、組合員自らが出資・利用・運営する組織です。出資金は商品の仕入れから設備投資等、運営の資金として「生協を支える力」となります。ぜひ、増資の取り組みにご協力をお願いします。

【増資の方法】

- ①積立増資 お申込みいただくと毎月一定の金額（1口500円から）が、口座振替されます。
- ②OCR増資 宅配OCR注文用紙の「増資申し込み欄」にて、数量1で500円の増資となります。
- ③レジ増資 暮らしのセンターでお買い物の際に、お申し出金額を増資できます。

.....

事業・財務の特徴

損益計算書 自2022年3月21日 至2022年9月20日 (単位:円)

	実績	予算	前年	予算比
供給高	106億2,685万	103億1,460万	103億5,578万	103.0%
供給剰余金	28億9,136万	28億1,939万	28億2,643万	102.6%
その他事業収入	2億2,012万	2億2,325万	2億1,950万	98.6%
事業総剰余金	31億1,149万	30億4,265万	30億4,592万	102.3%
事業経費合計	28億4,513万	28億6,987万	28億2,363万	99.1%
人件費	13億4,591万	13億8,220万	13億6,536万	97.4%
物件費	14億9,922万	14億8,767万	14億5,827万	100.8%
事業剰余金	2億6,635万	1億7,278万	2億2,229万	154.2%
事業外収益	4,380万	5,301万	4,804万	82.6%
事業外費用	454万	196万	530万	231.8%
経常剰余金	3億 562万	2億2,383万	2億6,503万	136.5%
特別収支	△155万	—	23万	—
当期剰余金	3億 407万	2億2,383万	2億6,526万	135.8%

※数値は万円未満を切り捨てています。 ※特別収支は固定資産の除却損によるものです。

- (1) 供給高は、予算比103.0%、前年比102.6%と予算を達成しました。センター事業で予算比102.8%、前年比102.9%、宅配事業で予算比101.9%、前年比101.9%となりました。サービス事業では葬祭事業で利用が大きく伸び、予算比101.8%、前年比112.0%となりました。再生可能エネルギーの普及に取り組んでいる電気小売り事業の利用額は、電気料金の値上がりによって増加し、6,023万円となりました。移動店舗(せいきょう便)は車両の増車を行い、前年より利用者は5,898人の増加、前年比119.5%、供給高は、前年比122.3%と大きく増加となりました。お買い物のお役立ちを進めて来ました。
- (2) 事業経費の人件費と物件費では、予算比99.1%と予算内の執行となっています。
- (3) 経常剰余金は、3億562万円と予算より8,178万円の超過達成、前年より4,058万円の増加となりました。
- (4) 純資産(組合員資本)は、前年の9月よりも5億4,799万円の増加となっています。



お問い合わせ
共立社コールセンター 0120-916-244